

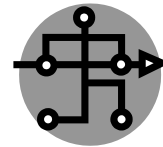
寒中お見舞い申し上げます 今年もよろしく申し上げます

1月 親の会例会を開きました。



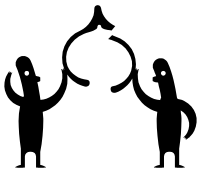
昨年12月の親の会例会に続き、今年1月の親の会でも話題になった、「何で子どもは分かってくれないんだろう」・・・「親の要求と子どもの思いのずれ」について、長崎の「登校拒否を考える親の会」の「親の会通信」に広木克行先生のコメントが載っていたので、転載してご紹介します。(長崎の親の会とは毎月の通信をお互いに届けています)

「こんにちは、久しぶりですね。世の中がすごく揺れていて、今年をあらわす文字が絆という字だというのは、何かその背景の揺れの激しさを物語っているようです。大地も揺れましたし、ヨーロッパ経済も大揺れ



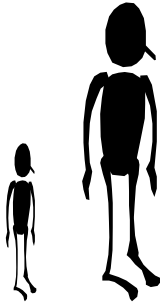
に揺れています。それからいたる所で戦争とかテロがあるし、その先行きが非常に見えにくい状況の中で、われわれは年の瀬を迎えているわけですが、今を生きる子どもたちが将来に向けてどんな希望を持っているのだろうか。

私が子どもの時は、社会に勢いもあったし、この道を進めば幸せになれるというか、豊かになれるかもしれないと何か肯定的なものを感じながら、その勢いを背に受けて、ある程度頑張る気持ちにもなれた。また、努力が報われるように感じながら、努力をしていた。そんな時代に生きてきた親世代、またはおじいちゃん、おばあちゃん世代と違って、今の子どもたちは努力して報われるという実感をあまり持っていない。将来への希望、夢みたいなのを非常に持ちにくい。若者たちの中には大揺れになって、社会がぶっ壊れるようなことを望んでいるかのような思いさえあるのです。自分たちの努力が報われる手応えのある社会ではなく、空回りして何をしているのかわからない感覚を今の子どもたちは持っていると思います。



その中で、自分が好きなもの、興味関心が見つかるということは、大きな救いであると同時に、その状況の中で子どもたちは自分が自分であっていいと思われ、関係を強く求めざるを得ない。そういう気持ちも今子どもたちは抱えているのだと思うのです。

それを社会の勢いを背景にしてある程度頑張れた親、または祖父母の世代は、今の若者たち、子どもたちの動きを見て『何で頑張らないのだろう』とか、『昔のわれわれはもっと頑張ったのに』と感じてしまう。いもの子どもたちが夢を持たず、自分の好きなことや、自分なりの目当てが持てなければ、いったい何を当てにしたらいいいのか分からない、非常に手応えの持ちにくい社会の中でさ迷っているのを見て、“頑張っていない”かのように見える。



だから、大人たちの言葉の一つひとつは、子どもたちから見ると、ものすごく干渉がましい。

『自分をそのまま認めてほしい、そのまま愛してほしいと思っているが、受け入れられない』そういう感覚で今の子どもたちと親たちとすれ違う。

「どんな言葉をかけていいのかわからない」と何人かの方から質問が出ていましたが、大人たちの経験をもとにした言葉が子どもにとっては干渉がましい、プレッシャーになっている事になかなか気づけない。

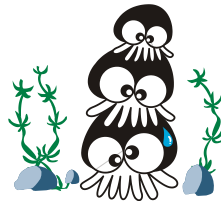
悩みながら何かを模索している子どもたちの姿を、“この子なりに頑張っているんだ”と見るのではなく、自分を基準に“なぜもっと頑張れないのか”という目で見てしまいがち。

この矛盾はおそらく多くの子どもたちが抱えている問題だと思います。それは、親は子どもを心にかけて、子どもに対して愛情表現として励ますのだけど、子どもにそれが愛情として伝わらない。

子どもに伝える伝わり方というのは、“迷っている姿そのものがまず大事なのだ”ということ、子どもたちはメッセージとして受け取りたいのだけど、そこになかなか大人たち、親たちが気づけないでいる。その親と子の間のすれ違いがいろいろなところで起きているなということ、お話を伺いながら思いました。

学んで気づかなければ、親は子どもに声をかける時、干渉がましい事を自覚もせず言ってしまう。それを乗り越えるには、今の子どもたちの様子や気持ち、この社会の中で懸命に生きている子どもたちの思いを学んで知ること。それなしには、子どもに届く言葉そういうものを探り当てることは難しいと思います。

何か本に書いてある言葉を、こう言えば子どもは納得するとか、これを言えば子どもの心に通じるマニュアルはないのです。



家族教室を開きます

徳島大学準教授の境泉洋先生のご協力で、24年度、家族教室を開く予定です。詳細はこれからですが、6月くらいからシリーズで学びたいと思っています。

境先生は宮崎出身、全国のつどいin宮崎やひきこもり支援者交流会in岐阜にも参加されています。

ごいっしょに学びませんか。今行き詰まっていること、何かが見えてくるかもしれません。

マニュアルではなく、ご自身の心の動きから出てくるものを感じ取ってみませんか。

希望者の多い時はグループ分けを行い、会員の皆様のご希望に添いたいと思っています。

第7回社会的ひきこもり支援者全国実践交流会 in 神戸

平成24年2月18日(土)～19日(日)

流通科学大学

参加費 大人3000円 学生・当事者・本人2000円

懇親会 4000円

現在8名の参加申し込みです。一緒に行きませんか。まだ大丈夫ですよ。

境泉洋先生がテーマ別実践交流会のひとつ「ひきこもりと家族支援」の助言者です。

チャオだより 子ども&若者の居場所・作業所

よろしかったら、少し
元気になった子どもさ
んに紹介してくださ
い。

クリスマスケーキ作りをしました

今回はソーシャルビジネスの担当課である県の総合政策課の方2名も見学に見えて、いっしょにクリスマスケーキのデコレーションを楽しみました。

参加した若者二人もゲストのお二人と一緒にデコレーション。話しやすく楽しかったそうです。

年末恒例餅つき&年越しそば打ち



20キロのもち米をかまどに起こした火で蒸しあげます。

丸める作業も上手にできて、今度はそば打ち。

5名の若者が薪にする木を探したり、のこぎりで切ったり力を合わせているのは頼もしかったです。

コスモス会 成人式&旅立ちを祝う会 1月13日

今年成人式を迎えたSくんYくん、この春、進学が決まったHくんの旅立ちに祝福を！！と、10名の参加で祝う会が行われました。

会場の宮崎観光ホテル「花はな」では、新年会を開くグループもあり、華やいだ雰囲気でした。茨木のり子さんの詩の朗読でオープニング。食事を楽しみながら、お祝いの言葉が述べられ、記念品贈呈ののち、SくんYくん、Hくんそれぞれの言葉がありました。自分自身の成長と、「今年は飛躍したい」

「チャオに来て、元の自分に戻れた気がする」などなど、胸にじんとききました。。

幸せになるって、なんだか大きなことじゃなくて、心の中にほわんと暖かなものが沁み渡るようなことなのかなあ〜と、それぞれの静かなささやくような挨拶を聴きながら、感じたことでした。

旅立ちももうすぐです。また顔を見せてほしいですね。



育っています 黒木さんのきゅうり

11月に苗付けのお手伝いに行った黒木さんのきゅうり。黒木さんが近況を知らせてくださいました。

「おかげさまで、収穫、出荷ができています。ただし、狭いほうのハウスの生育は夜温不足のため、大変遅れています。春になったら、収穫のお手伝いをお願いしようと思っています」と。農業もその時その時のスピードがあるのですね。春になるまでゆっくり待って、収穫するきゅうり…いとおしさが増すようです。

みんなでお手伝いに行きましょうね。



揺れながらも支えあう

2月 親の会例会

とき 2月11日(土) 午後1時~4時

ところ 宮崎市民プラザ4F 小研修室 (宮崎市橘通り西1丁目宮崎市役所隣り)

今後の例会等日程

1/31(火)	困難を抱える子ども・若者支援フォーラム市民プラザ
2/11(土)	2月例会 市民プラザ4F小研修室
2/18~19	ひきこもり支援者全国実践交流集会 in 神戸
3/10(土)	3月例会 市民プラザ4F小研修室
4/14(土)	4月例会 市民プラザ4F小研修室
5/12(土)	5月例会

予定は変更になることもありますので、お問い合わせくださいませ。

別紙に案内を同封しています。多くの参加をお願いします。

相談 要予約

090-7458-0926

亀田まで

子どもさんの気持ち(どんな支援を望んでいるか)
ごいっしょに考えましょう

1月・2月スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
15	16	17	18	19	20	21
		相談日	チャオ	発送作業	ケーキ作り	ネットワーク
22	23	24	25	26	27	28
		相談日	チャオ	事務局会議	チャオ	
29	30	31	1	2	3	4
			チャオ	スタッフ会議	チャオ	
/5	6	7	8	9	10	11
		相談日	チャオ	事務局会議	チャオ	親の会例会
12	13	14	15	16	17	18
		相談日	チャオ	発送作業	チャオ	ひきこもり支援者実践交流会
19	20	21	22	23	24	25
ひきこもり支援者実践交流会		相談日	チャオ	事務局会議	チャオ	

会費納入ありがとうございます

年会費 2000円 おもに毎月発行のコスモス通信発行費に充てられます。

内訳(会費・寄付・その他)をお書きください。

郵便振替口座

口座番号 01780-1-132375

口座名称 コスモス会